

第 4 学年 英語活動 学習指導案

1 単元名 Joyful English

2 単元の目標

- (1) 英語を使ったコミュニケーション活動を楽しみながら、自国や他国の言語や文化への関心や理解を深めることができる。
- (2) 相手が話している英語の意味を推測し、相手に反応しようとする。

3 単元と児童

(1) 単元設定の理由

英語活動には、「スキル重視の考え方」と「コミュニケーション重視」の考え方がある（「中教審教育課程部会外国語専門部会審議の状況」による）。前者は言語をスキルとして習得させ、習得した言語を用いてコミュニケーションを成立させようという考え方である。一方、後者は実際のコミュニケーションを通して言語が習得されるという考え方である。

本単元は、後者の考え方に立って設定したものである。小学校の英語活動は言語習得を目的とした英語学習ではなく、「コミュニケーション能力を育成するための素地」である関心・意欲・態度を養うことがねらいだからである。

本単元では「教育課程部会におけるこれまでの審議のまとめ」で言う「コミュニケーション能力を育成するための素地」を次のように定義しておく。

- 相手の話す英語を聞いて、それを理解しようとする態度をもつこと（推測）
- 相手に何らかの反応を示そうとする態度をもつこと（反応）

キーワードは、「推測」と「反応」である。「推測」と「反応」の繰り返しで授業を組み立てることによって、英語活動の目標である「積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度（平成 20 年 1 月 17 日 中央教育審議会答申）」を育成することができる。

(2) 児童の実態

「英語活動の学習で大切なのは、一生懸命聞くこと。そして、どんなことを言っているのか推測すること。推測の手掛かりは絵やジェスチャーです。」

これは、2月2日の学習発表会で子どもたちが発表した内容の一部である。この発言が示しているとおり、子どもたちが経験してきた英語活動は、「推測」と「反応」をキーワードとしたコミュニケーションベースの授業である。

12月に「漢字」を題材とした授業を行った。授業後に書いた感想の中で、多くの子どもたちが

「今まで分からなかったことが分かっておもしろかった」と書いていた。これは、答申が示す一つの目標である「言語や文化に対する理解」に直結する反応である。また、「推測できた」と自己評価した子どもが90%、「反応できた」と自己評価した子どもが81%（数値はいずれも平均値）と比較的高い数値だったことは、2つ目の目標についてもポジティブな評価をしてよいものと判断している。

4 単元の指導計画（全15時間 ※13時間目以降の計画は未定）

	Topic	Language	Notes
1	体の調子	How are you? I'm~.	ALTによる授業
2	数と形	star, circle, heart, square, triangle, rectangle, pentagon, hexagon 1~40 くらいまでの数	絵本 "SLIDE 'N' SEEK Shapes(Chuck Murphy)" 絵本 "Puzzling Shapes"
3	数で遊ぼう	Let's count from one to ten. Let's count back from ten to one. What color is number 5? What number is purple? This means a number. What's this number? Do you know? This is one and this is five and this is ten. They are Roman numbers.	"Seven Steps" ローマ数字 絵本 "The Doorbell Rang"
4	今は何時かな	What time is it? It's seven o'clock. What time do you get up every morning?	サイト「ぐるぐる時計」 時計ポスター
5	世界を旅しよう	Where do pandas live? They live in China. What time is it in Mexico? It's eleven thirty in Mexico.	Google Earth サイト「世界の窓」
6	色で遊ぼう	What color is it?	ALTによる授業
7	インチで測ろう	What part is forty-six inches? How many inches is your bicycle?	テレビの実物大カタログ等
8	Thanksgiving Day	chicken, rabbit, turkey Thanksgiving Day	Word Search "What did the chicken say on Thanksgiving Day?"
9	数で遊ぼう2	1~100の数 How old are you?	ALTによる授業
10	漢字で遊ぼう	Can you guess what animal this is? What comes after the mouse? north, south, east, west	絵本 "Dear Zoo" 十二支カード
11	Body parts	arms, eyes, legs, nose, ears, head, tail, wings, body	ALTによる授業
12	Happy Valentine's Day! (本時)	What is Valentine's Day? What did you hear in this song? tigers, cats, zebras, bats, crocodiles, frogs, dinosaurs, dogs, butterflies, bees	絵本 "What Is Valentine's Day?" 歌 "You're My Valentine." 折り紙 間違い探し

5 本時の指導

(1) 本時のねらい

- ① 「絵本“What Is Valentine’s Day?”」「歌“You’re My Valentine.”」「ゲーム“Find the differences”」「折り紙“Let’s make a Valentine.”」の四つのコミュニケーション活動を楽しみながら、日本とは異なるアメリカの Valentine’s Day の習慣を知ったり、日本の文化である「折り紙」に関心をもったりする。
- ② 四つの活動を通して、英語の内容を推測したり、推測した内容に対して反応したりできる。

(2) 展開の構想

本時は、Valentine’s Day を題材とした四つのコミュニケーション活動で構成する。

① 絵本“What Is Valentine’s Day ?” (Art/Space smart, Word smart, People smart)

女の子が好きな男の子にチョコレートを渡す日。これがバレンタインデーについて子どもたちがもっている知識である。これ以上の知識をもっている子どもはおそらく皆無であろう。本時でバレンタインデーの歴史的背景を知ったり、日本とは異なるアメリカの習慣について知ったりする経験は、子どもたちにとってバレンタインデーという文化について考えるためのきっかけとなるはずである。

絵本“What Is Valentine’s Day ?”は、主人公である子ネズミが、友達や家族にバレンタインカードを渡し、自分も父母から本のプレゼントをもらうというストーリーである。この絵本の読み聞かせを楽しむことにより、子どもたちは日本とは異なるバレンタインデーに接することとなる。絵本は、input 教材として次の点で適しているため、子どもたちは無理なくストーリーの展開を楽しめるはずである。

ア コンテンツ（絵本の内容）自体の魅力が、子どもたちの「聞こう」とする意欲を喚起する。

イ 絵という視覚情報が意味推測を補助する。

② 歌“You’re My Valentine.” (Music smart, Nature smart, Body smart)

現在行われている英語活動の多くは、性急に発話を求めすぎている（資料1参照）。歌を使った活動についても同じことが言える。歌やチャンツは、英語活動のアクティビティの1つとしてしばしば取り入れられている。しかし、そのアクティビティのねらいは大抵の場合、「発話」である。歌やチャンツを教えて、歌えるようにしたり言えるようにしたりすることをねらっている。

本時では、歌を「聴く」ための教材として使う。良質の歌やチャンツは、優れたリスニング教材である。また、何度も繰り返して聴くことを楽しむうちに、自然な発話が生まれる。教えて発話させるのではなく、自然に発話できるようになるのである。このように、良質の input を意味のある状況・文脈が明確な状況で大量に行うことによって、自然に output が生まれる状態が、小学校英語活動における望ましい「発話」である。

③ ゲーム“Find the differences” (Art/Space smart, People smart)

間違い探しゲームである。間違い探しは、前述の折り紙と同様、子どもたちにとって身近な遊びの一つである。学校の図書室には、間違い探しを題材とした絵本が置いてあり、ほとんどの子どもたちが、それらの絵本で間違い探しゲームを楽しんだ経験をもっている。

本時では、バレンタインを題材として描かれた2枚の絵を使って間違い探しゲームを行う。2枚の絵には、10の違いがあり、それらのほとんどは「数」「色」「長さ」等、子どもたちにとっても理解が容易な英語で表現することができる。また、子どもたちにとって難しい語彙についても、絵という視覚情報が意味推測を可能にしてくれる。

このゲームは、グループワークで行う。一人一人の発見をグループ内で話し合わせることで、子どもたち同士のコミュニケーションを具現することができるからである。また、グループワークにすることにより、“Art/Space smart”だけでなく“People smart”をターゲットとすることにもなる。

④ 折り紙“Let’s make a Valentine.” (Art/Space smart, People smart)

折り紙は、学級の子どもたちが日常的に楽しんでいる遊びである。昼休みの教室では、折り紙遊びを楽しむ子どもたちの姿が毎日のように見られ、昆虫や動物など、大人でも折るのが難しいと思われる作品を次々と折って楽しんでいる。

日本の折り紙は“Origami”として諸外国でも紹介されており、日本文化の一つであると言ってよい。ヨーロッパにも折り紙はあるが、私たち日本人は、紙で物を包む実用的な「礼法折り紙」、鶴や船など具体的な物の形に見立てて折る「遊戯折り紙」等、長い歴史を経て独自の折り紙文化を作り上げてきた。折り紙は、答申で言う「国語や我が国の文化を含めた言語や文化に対する理解を深める」という目標に合致した教材である。

また、折り紙は“Listen and Do”のための優れた教材でもある。「推測と反応によって具現されるコミュニケーション活動」そのものだからである。この視点から折り紙を見たとき、そこには次のような利点を見いだすことができる。

<p>ア HRT の師範によって与えられる視覚情報が、子どもたちの内容推測を容易にする。</p> <p>イ 子どもたちの反応を具体的に見取ることができるため、Home Room Teacher がフィードバックを行いやすい。</p>
--

(3) 本時の展開

時間	学習活動	・留意点 ■評価 (方法)
5	<p>1 What Is Valentine's Day? (2月のカレンダーを示しながら) Today is February 5th. (2月14日を指して) Do you know this day? Yes, it's Valentine's Day. Do you know what Valentine's day is? (バレンタインデーの由来について、日本語で話して聞かせる。)</p> <p>※ 今から、1800年ほど前のことです。ローマにクラディウス二世という王様がいました。この王様は、若者たちが戦争に出たがらないので困っていました。王様は、若者たちが戦争に出ないのは、家族や愛するものを失いたくないからだと思います。結婚を禁止してしまいました。しかし、かわいそうな兵士を見て、内緒でこっそりと結婚させてくれていた神父さんがいたのです。その人の名をバレンタインと言います。そう、バレンタインとは人の名前だったのです。ところが、それを知った王様はバレンタインを処刑してしまいました。2月14日は、バレンタインが処刑された日なのです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2月のカレンダーを提示 ・バレンタインデーの由来について日本語で話して聞かせる。(※ バレンタインデーの由来については、さまざまな説があるが、ここでは、左に挙げた内容を紹介する。) ・日本ではどんな日かを言わせ、「アメリカではどんな日なのでしょう。」と問いながら、次の活動へとつなげる。
10	<p>2 Storytelling Look at this book. The title of this book is "What Is Valentine's Day?". (表紙を見せながら) This is a little mouse. Who is this? He is Little Mouse's father. Who is this? Yes, she is Little mouse's mother. Let's read the book. (絵本を読み聞かせる。)</p> <p>In Japan, only girls give boys chocolates on Valentine's Day. But in America, both boys and girls exchange presents. Friends and family members often exchange Valentine cards and presents as well.</p> <p>It is a fun day for elementary school students in America. On Valentine's Day, they exchange cards and candy with their friends at school.</p>	<p>"What Is Valentine's Day?" (Claire Schumacher, Sterling Publishing)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵が指し示す内容を尋ねたり絵本のフラップをめくらせたりしながら、インタラクティブな読み聞かせを行う。 ・読み聞かせの後、再度絵本の絵を使いながら、日本とアメリカの違いを話して聞かせる。 <p>■絵本の読み聞かせを楽しみ、日本とアメリカのバレンタインデーの違いが分かる。 (授業中の見取りと自己評価カード)</p>
10	<p>3 Song Now, we're going to listen to a song. The title of this song is "You're My Valentine". We can hear some animals and insects in this song. (CDで"You're My Valentine"を聴く。) What did you hear in this song? (裏返されたカードを指しながら) What's this animal? (or What's this?) Do you want to listen one more time? OK. Let's listen</p>	<p>"Holiday Jazz Chants" (Carolyn Graham, Oxford University Press)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌の中に出てくる動物の絵カードを裏返した状態で黒板に提示しておき、子どもたちが聞き取ることができたカードから表を向けていく。

	<p>again. (すべてを聴き取ることができるまで繰り返し CD を聴く。) Let's listen to the song and point to the cards. Let's say them together. (表向きになったカードを見ながら、動物や昆虫の名前を言ってみる。) Can you sing the song? OK. Let's sing the song along with the CD. (HRT はカードを指しながら歌う。) Can you sing the song without the CD? OK. Let's sing without the CD. (キーボードの伴奏だけで歌ってみる。)</p> <p>※ 子どもの様子を見て、可能であれば、再びカードを裏返しにして歌ってみる。</p>	<p>■歌の中に出てくる動物の名前を聴き取ろうとしている。(授業中の見取りと自己評価カード)</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが自然に歌を覚えられるように次の過程を経ながら活動を進める。(すべてが歌えなくともよい。) <ol style="list-style-type: none"> ① 何度も聴く。 ② カードを見ながら聞く。 ③ カードを見ながら CD といっしょに歌う。 ④ カードを見ながら、キーボード伴奏で歌う。
10	<p>4 Find the Differences.</p> <p>Look at these two pictures. They are different. We can find 10 differences between A and B. For example, we see five hearts in picture A, but in picture B, we see six hearts. Can you find any other differences? (1名を指名し、もう1つ間違いを指摘させる。) OK. You can find 8 more differences. Can you do it? (ワークシートを配布。) Let's try it. Get into groups. You may have 5 minutes.</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) There are 5 hearts in picture A, but there are 6 hearts in picture B. 2) In picture A, the girl dog is wearing a pink ribbon, but in picture B, she's wearing a purple ribbon. 3) In picture A, the boy dog is not wearing a medal, but in picture B, he's wearing a medal. 4) In picture A, the boy dog has 11 freckles, but in picture B, he has 7 freckles. 5) In picture A, the girl dog has longer eyelashes, but in picture B, she has shorter eyelashes. 6) In picture A, the boy dog's tail is thinner, but in picture B, his tail is thicker. 7) In picture B, the part of the girl dog's ribbon is missing. 8) In picture B, the boy dog is missing a paw. 9) In picture B, the girl dog's hind paw is missing a toenail. 10) In picture B, the girl dog has some freckles. 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートを配布する前に、拡大した絵を黒板に提示し、間違い探しのやり方を確認する。 子どもたちが活動内容を理解できるように、間違いの具体例を示しながら説明する。 ゲームは班ごとに行うグループワークとする。 グループワークの後、一つずつ絵を指し示しながら、間違いを確認していく。 <p>■絵と対応させながら「答え」を聞き、「答え」の内容を推測できる。(授業中の見取りと自己評価カード)</p>

<p>10</p>	<p>5 Let's make a Valentine.</p> <p>Look at this. I made it. What shape is this? Yes, it's a heart. It's very easy to make. I'll teach you how.</p> <p>① Hold your origami paper like this. You're looking at the back side. Yes, you're looking at the white side. Fold a vertical diagonal like this. Yes, you bring this corner to this corner and fold. Good. Now, unfold.</p> <p>② Next, fold a horizontal diagonal like this. Yes, you bring the bottom edge to the top edge and fold. Good.</p> <p>③ Now, you should have a triangle like mine. Fold side corners to the top corner. Yes, bring the side corner to the top. You should have a small square. Right. Now, unfold.</p> <p>④ Fold down the top corner of the two layers to slightly above the bottom edge. Look. You have a trapezoid.</p> <p>⑤ Look at my origami. Does everyone have a trapezoid? Good! Fold up the corners like this. You have crease lines. Use the crease lines. Good!</p> <p>⑥ Now, turn it over. See the pointy ears? You have two pointy ears. Right?</p> <p>⑦ Fold down the corners along the edge. Yes, bring the ears down like this.</p> <p>⑧ Look. You have two pockets. Open the pockets and squash them...</p> <p>⑨ like this. Wow, it looks like a frog. These are frog eyes. It looks like a shirt, too. These are collars.</p> <p>⑩ Now, look carefully. Fold the side corners inside. The edges have to align to each other. Can you see mine? The edges align to each other. Show me your origami. Yes. Good!</p> <p>⑪ Now, fold down the top corners a little like this.</p> <p>⑫ Look at my origami. Look at yours. Do they look the same? Do they look similar? Good. Now turn it over.</p> <p>⑬ What shape is this? Yes, it's a heart. You have fold and made a heart.</p> <p>Are you finished? Good job! Glue your heart on this sheet like this. It looks like a flower.</p>	<p>“Folding Japan with Origami in English” (山口真 ナツメ社)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 班を作らせ、お互いに分からないところは教え合いながら活動できるようにする。 • HRT は大きな画用紙を使って作り方を示す。 • 分からない箇所はお互いに教え合えるように、グループワークとする。 • できあがった♥はグループ毎に画用紙に貼らせ、持ってこさせる。 • HRT は、画用紙を持ってきたグループに、“Happy Valentine's Day!”と言いながらチョコレートを渡す。 <p>■HRT の発話する作り方の説明内容を推測しながら、折り紙での♥作りを楽しんでいる。(授業中の見取りと自己評価カード)</p>
-----------	---	---

Joyful English! ふりかえりカード

Name _____

1 今日の学習で、あなたが楽しかった活動は何ですか。あなたが「楽しかった」と思う活動すべてに○をつけましょう。

A 絵本「バレンタインデーってどんな日？」 B 歌「You're My Valentine.」

C まちがい探し D 折り紙で♥を作ろう

2 先生の話している英語の意味を推理しながら聞こうとしましたか。

A できた B まあまあできた

C あまりできなかった D できなかった

3 歌の動物を当てようとしたり、折り紙で♥を作ったりできましたか。

A できた B まあまあできた

C あまりできなかった D できなかった

4 今日の英語の感想を書きましょう。

